

平成24年度北部地区春季大会 大会要綱

期 日：平成24年4月15日（日）

会 場：霞城公園内ソフトボール場

1 参加チーム

楯山野球スポーツ少年団	高瀬野球スポーツ少年団
東小スポーツ少年団野球部	鈴川野球スポーツ少年団
山九小あかしあスポーツ少年団野球部	山三小こまくさガンバローズ
大郷ビッグドリームズ	千歳ルーキーズスポーツ少年団

2 大会運営並びにルール

- ①開会式は午前8時15分から行う。
- ②ルールは、原則として東南村山大会規定に準ずる。
※1回目からボークを取る。 投球制限を適用する（7イニング）
- ③審判員は、各チームより2名ずつ、服装は東南村山大会規定に準ずる。（ジャンパー可）
- ④試合球は、各チーム3個ずつ持ち寄りとする。
- ⑤試合の制限時間は1時間20分とする。1時間20分を過ぎた場合は次のイニングに入らないものとする。
- ⑥同点の場合、特別延長戦を1イニング行う（0アウト満塁で継続打者とする）。それでも、同点の場合は最後の回の守備選手によって○×式抽選を行い○印の多いチームを勝ちとする。
- ⑦5回以降7点差があった場合はコールドゲームとする。
- ⑧競技中の降雨等の中止の判断は審判団及び大会本部で決定する。
但し、試合の成立は3回の表裏を終了した時点からとする。
- ⑨ベンチは、組合せ番号の若いチームを1塁側とする。
- ⑩試合終了後、各チームより監督推薦の優秀選手3名を選出し、閉会式で表彰する。
- ⑪各チームとも1試合目の開始前のみ5分間のシートノックを行う。

3 開会式・閉会式

開会式		閉会式	
1. 開会の挨拶	千歳野球部副部長	1. 開会の挨拶	千歳野球部副部長
2. 実行委員長挨拶	千歳野球部部长	2. 順位発表・表彰	尾形源二会長
3. 大会会長挨拶	尾形源二会長	3. 優秀賞発表・表彰	尾形源二会長
4. 来客挨拶	千歳小学校校長	4. 監督総評	優勝チーム監督
5. 優勝杯返還	尾形源二会長	5. 大会会長総評	尾形源二会長
6. 審判長注意	千歳審判部部长	6. 閉会の挨拶	千歳野球部副部長
7. 選手宣誓	千歳小主将		
8. 閉会の挨拶	千歳野球部副部長		

※前回優勝チームは優勝カップ・トロフィーを忘れずに持参してください。

4 参加費・収支等

参加費は各チーム5,000円とし、抽選会時に徴収します。
支出は優秀選手賞メダル、石灰等の購入経費等に充当します。

5 中止の決定

小雨の場合は、当日各団グラウンドに集合の上、事務局で協議し決定する。
雨天の場合は、午前6時に千歳小より各団代表者へ連絡する。

6 スケジュール

- 7:00 各団審判2名会場集合（グラウンド整備、会場準備）
審判にはおにぎり2個とお茶をお出しします。
- 7:45 選手団会場集合・受付（大会本部前）
- 8:00 事前打ち合わせ（審判及びルール等について）
- 8:15 開会式
- 9:00 試合開始
（Aコート始球式：千歳小校長、Bコート始球式：尾形会長）
- 16:15 閉会式

7 組み合わせ（3ページ）

未定。

8 応援について

※自軍を応援するのが応援団である。

相手チームのエラーやミスをはやしたてて相手にプレッシャーをかけるような応援は厳に慎むこと。

※選手ベンチと応援席は分離すること。（選手ベンチ後方での応援は禁止）

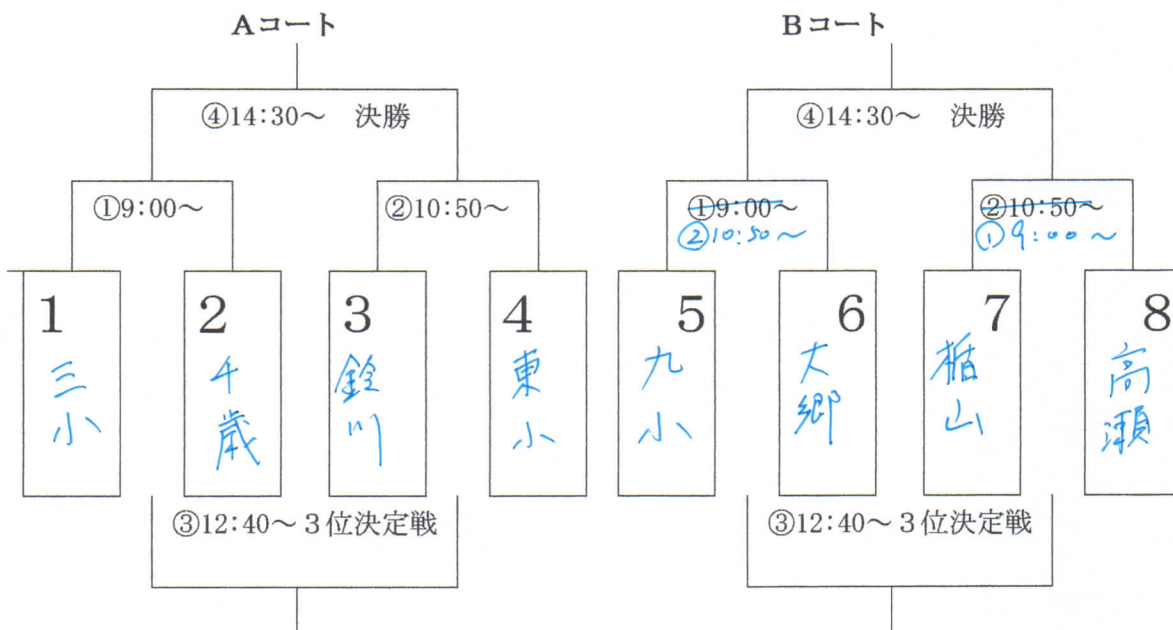
9 準備する物

●大会当日、次の道具類の準備をお願いします。

備品名	Aコート	Bコート	備品名	Aコート	Bコート
固定ベース（2組）	千歳小		ストップウォッチ（2個）	北部備品	北部備品
ピッチャープレート（2個）	東小		ジョウロ・バケツ・雑巾	各チーム	各チーム
バッターボックス枠	三小		ハンマー	各チーム	各チーム
得点板	—	—			
ストライク表示板	鈴川				
ラインカー（4台）	東小千歳小		道具類は、当日7時まで 各団審判の集合時にご持参下さい。		
メジャー（4個）	各団				

外野ネット 鈴川小

組 み 合 わ せ



- ※ 第①、②試合の審判は、試合をしていないチームの番号の早い方が主審と二塁、遅い方が一塁と三塁をお願いします。
- ※ 第③、④試合の審判は、試合をしていないチームの番号の遅い方が主審と二塁、早い方が一塁と三塁をお願いします。
- ※ 各試合の記録と計時は、各コートの審判員で行って下さい。
- ※ メンバー表の提出は、前の試合の試合開始予定時刻の40分前までに提出をお願いします。
- ※ グラウンド整備は試合終了した勝利チームをお願いします。

(備 考)

- ・第一試合のオーダーは事前を書いておき、開会式直後に各コートでメンバー提出を行って下さい。

平成24年度 北部地区春季大会

ローカルルール 及び 確認 事項

ボールボーイは父兄可 (ヤシ-応援はNG)

- 1、各グラウンド共、各団の審判2名は自軍の試合のないときは審判、
自軍の試合の時はネット裏で得点係か時計係をする。時計係は試合開始直後各ベンチに開始時刻を知らせる。
- 2、父兄の過激な応援、審判ジャッジに対する批判に対しては、審判は監督を通じて注意する。
- 3、ネット際のボールの判定の際に審判はネット際に移動しジャッジを正確に行う。又フォローの為のローテーションを確実に実施する。
- 4、シートノックは1回戦のみ行ない、各5分間、後攻のチームから始める。球審は残り1分と終了をコールする。(補助者もヘルメット着用)今日18時止し。
- 5、ネットをキャリーで超えたらホームラン、ワンバンドで超えたり、下に潜ったら2ベース。
- 6、樹木、枝に触れたボールは、ファウルボール。
- 7、ボールは1塁側のボールボーイに集めて、球審に差し出す。
- 8、投球練習は、初回は7球行い、次回からは4球とする。途中交代は7球とする。
- 9、ピッチャーは今大会、7イニングの投球制限とする。3球以下5イニング 対峙回数にかかわらず1イニング換算
- 10、キャッチャーは投球練習の時から、マスクを着用する。毎回守備前の二塁への試投は可。
- 11、キャッチャーの毎回守備前の声かけは、キャッチャーボックスの中で行う。
- 12、原則として審判の給水は3回と6回の裏終了時に行う。ただし、試合の進行が遅い場合には適宜行う。
- 13、ボークは初回からとる。塁審もボークをとる。
- 14、審判団は試合開始前に、金属バットの確認(破損はしてないか、J S B Bのマークがあるか)をする。
- 15、第2試合目からの球審予定者は、試合開始予定時刻の40分前までに、バックネット裏に主将2人を集め、ジャンケンで先攻、後攻を決めてメンバー表の控えに先、後を書く。尚ボールは3個とする。
- 16、5回以降7点差があった場合はコールドゲームとする。
- 17、ロスタイムなし。
- 18、試合の制限時間は1時間20分とする。1時間20分を過ぎた場合は次のイニングに入らないものとする。
- 19、特別延長は1イニングとし試合時間1時間20分に関係なく行う。
- 20、試合後の相手チームへの挨拶は行わない。

☆ ゴミは各団お持ち帰りをお願いします。